

＜ナラサキスタックス株式会社＞

×

＜株式会社ジェイアール貨物・北海道物流＞ × ＜日本貨物鉄道株式会社＞

～ “道内初” 鉄道を利用した国際海上コンテナ輸送実証実験 ～

概要

事業イメージ(全体像)

背景/課題

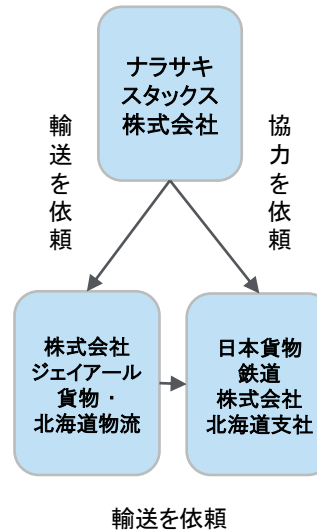
- ・ 「物流の2024年問題」と称されるように物流業界では、ドライバー不足や働き方改革関連法による労働時間の上限規制の影響で、「輸送可能な貨物量の減少」、「長距離輸送への対応」が課題となっている。
- ・ 道内完結する形式で鉄道を利用した国際海上コンテナ輸送の実績がこれまでにない。

事業内容

- ・ 道内初の新たな輸送方法として、「鉄道を利用した国際海上コンテナ輸送実証実験」を実施する。
- ・ 空(貨物がない)コンテナによる予備輸送試験を行って基本条件を確認し、次に実入り(貨物がある)コンテナを使用して本輸送を想定した輸送試験を行う。

事業効果/成果

- ・ 道内完結する形式として初の試みだった20FT国際海上コンテナの鉄道を利用した苫小牧貨物駅～函館貨物駅の輸送を滞りなく完了することができ、鉄道を利用して函館までの20FT国際海上コンテナ輸送が可能ことが実証された。



①空コンテナ輸送試験(R7/8月)



苫小牧貨物駅～函館貨物駅の20FT国際海上コンテナの空コンテナによる輸送試験を実施。

②実入りコンテナ輸送試験(R7/9月、12月)



輸入の実入りコンテナの輸送試験を鉄道を利用して9月に1回、12月に1回の計2回実施。



いずれの輸送においても滞りなく完了することができ、鉄道を利用して20FT国際海上コンテナを輸送可能なことが実証された。

今後の事業展開

- ・ さらなるドライバー不足に伴う長距離輸送能力の不足に備えられるよう、実証された輸送方法の周知を行い、実証実験にとどまらないよう鉄道を利用した国際海上コンテナ輸送の事業化を目指していく。